広島市条例第23号 令和7年3月28日

広島市映像文化ライブラリー条例の一部を改正する条例をここに公布する。

広島市長 松 井 一 實

広島市映像文化ライブラリー条例の一部を改正する条例 広島市映像文化ライブラリー条例(昭和57年広島市条例第35号)の 一部を次のように改正する。

第2条中「広島市中区基町3番1号」を「広島市南区松原町9番1号」に改める。

第11条を第17条とする。

第10条第1項中「映像文化ライブラリーの設備を使用しようとする者及び」を削り、「鑑賞しようとする者」の右に「及びホールを使用しようとする者」を加え、「使用又は鑑賞」を「鑑賞又は使用」に改め、同条第2項中「前納し」を「前項に規定する映画を鑑賞しようとする者にあつては前納し、ホールを使用しようとする者にあつては使用許可の際、支払わ」に改め、同条第6項中「使用料又は鑑賞料」を「鑑賞料又は使用料」に改め、同条第7項中「使用又は鑑賞」を「鑑賞又は使用」に、「使用料又は鑑賞料」を「鑑賞料又は使用料」に、「使用料又は鑑賞料」を「鑑賞料の」に、「使用料の」を「鑑賞料の」に、

「鑑賞料の」を「使用料の」に改め、同条を第16条とする。

第9条中第4号を第5号とし、第3号を第4号とし、第2号を第3号と し、第1号の次に次の1号を加える。

(2) ホールの使用許可に関すること。

第9条を第15条とし、第8条を第14条とし、第7条を第13条とする。

第6条に次の1項を加える。

2 前項の規定により映像文化ライブラリーの管理を指定管理者に行わせる場合における第4条及び第8条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「第12条第1項の指定管理者」とする。

第6条を第12条とし、第5条を第10条とし、同条の次に次の1条を加える。

(市の損害賠償責任)

第11条 本市は、第8条の規定による処分により、使用者が損害を受けることがあつても、その賠償の責めを負わない。

第4条を第6条とし、同条の次に次の3条を加える。

(目的外使用等の禁止)

第7条 第4条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、ホールを許可を受けた目的以外の目的に使用し、転貸し、又はその使用権を譲渡してはならない。

(使用許可の取消し等)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、第4条第1項の 許可を取り消し、又は使用者に対し、使用の制限、使用の停止若しくは 退去を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは命令に違反したとき。
- (2) 使用者が使用条件に違反したとき。
- (3) 第5条各号に規定する事態が発生したとき。

(原状回復義務)

第9条 使用者は、ホールの使用を終了したとき、又はその使用許可を取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

第3条の次に次の2条を加える。

(使用の許可)

- 第4条 映像文化ライブラリーのホール(以下「ホール」という。)を使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。 許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
- 2 市長は、前項の許可をする場合において、映像文化ライブラリーの管理運営上必要があると認めるときは、その使用について条件を付することができる。
- 3 市長は、第1条の目的以外の目的に使用する場合であつても、使用の 用途が適当であると認めるときは、第1項の許可をすることができる。 (使用の制限)
- 第5条 次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしない。
  - (1) 秩序又は風俗を乱すおそれがあるとき。

- (2) ホールを損傷するおそれがあるとき。
- (3) 会合の性質が騒じようを起こすおそれがあるとき。
- (4) その他管理運営上支障があるとき。

別表第1を削る。

別表第2中「第10条」を「第16条」に改め、同表を別表第1とし、 同表の次に次の1表を加える。

## 別表第2 (第16条関係)

区	分	単 位		金	額
		3時間まで		8,	920
ホール		3時間を超える1	時間	2, 970	
		までごとに			

備考 商品の広告、宣伝又は販売その他の商業活動のために使用する場合の金額は、この表により算定した額の1.5倍の額とする。

附則

- 1 この条例は、令和8年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、 公布の日から施行する。
- 2 指定管理者の指定に関し必要な行為その他必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。